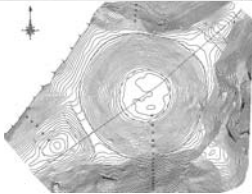




▼上：ジオラマ、下：平面図



埋蔵文化財包蔵地 天ヶ谷古墳

History

キラリを再発見

市内で最大の大型古墳

新野地区中西と菊川市高橋との境に位置する標高67mの丘陵上に、御前崎市最古かつ最大規模の大型古墳「天ヶ谷古墳」があります。

天ヶ谷古墳は、平成14年に発見され、御前崎市にとって大変重要な古墳であることから、平成16年に正確な測量調査を実施しました。その結果、南西側と北東側に基底幅2.2m～6.8m、深さ0.9m～1.4mの周溝を持ち、最大径37.6m、高さ5.2m、墳頂部径15mの大型の円墳であることが分かりました。

大規模な古墳ということもあり、ここに埋葬されている人物は、古墳時代中期ごろ（西暦5世紀代）にこの地域を治めていた首長であると考えられています。県内でも天ヶ谷古墳ほどの大きさの円墳は例が少なく、浜松市や磐田市、掛川市、静岡市、富士市など古式の古墳が造営された古代勢力の中心地にしかありません。

Atomic

暮らしと原子力

県と御前崎市が
津波対策工事を点検・確認

昨年10月26日に、市民代表

した。

者や石原茂雄市長、川勝平太県知事らが浜岡原子力発電所の津波対策工事を現場視察しました。視察後設けられた意見交換会の場で、石原市長が「同工事について定期的な点検・確認を実施し、段階的に評価していただきたい。それが住民の安心にもつながる」と県に要望しました。

11月の点検に参加した石原茂雄市長は「安全に津波対策工事を進めていくとともに、市民だけではなく国民が安全や安心を実感できるよう頑張ってほしい」と中部電力に要望しました。

要望を受け昨年11月28日と今年1月24日、本市の立ち会いの下、県の浜岡原子力発電所における津波対策工

市の点検が実施されました。昨年11月の点検では、防波壁基礎部を点検。今年1月の点検では、同様の点検と対策が完了している「災害対策用発電機の建屋屋上への設置」「可搬式動力ポンプの確保」「ブルドーザー等の重機の配備」の状況について確認しま

